

平成29年度市立砺波総合病院経営改善委員会の概要について

「市立砺波総合病院経営改善委員会」を開催し、経営状況等の点検及び評価を行いましたので公表します。

平成29年3月に策定した市立砺波総合病院新改革プラン（計画期間平成29年度から32年度）について、この計画に基づく経営状況の点検及び評価を行うため、市立砺波総合病院経営改善委員会（以下「経営改善委員会」という。）を開催しました。

経営改善委員会は、医療関係者のほか、市民団体、経済界、行政等の様々な専門分野の委員8名で組織されており、市立砺波総合病院の経営改善に関する事項等について点検及び評価のため設置しております。委員の皆さんは次のとおりです。

（敬称略）

要綱に基づく区分	役 職	氏 名	
医療政策に指導的立場に立つ医療関係者	金沢大学医薬保健学域長・研究域長	金子 周一	委員長
砺波医療圏における医師又は看護師等が組織する団体の代表者	砺波医師会長	藤井 正則	
市民が組織する団体の代表者	砺波市地区自治振興会協議会長	杉林 進	
	砺波市連合婦人会長	尾栢 光江	
その他学識経験を有する者	砺波商工会議所会頭	北村 憲三	
	税理士	水木 保男	
行政関係者	富山県砺波厚生センター所長	垣内 孝子	
	砺波市副市長	齊藤 一夫	

市立砺波総合病院経営改善委員会の概要は次のとおりです。

- (1) 日 時 平成29年11月8日(水) 午後4時から午後5時45分
- (2) 場 所 市立砺波総合病院南棟2階第1会議室
- (3) 出席委員 経営改善委員会委員8名
- (4) 協議事項

① 平成28年度経営状況について

延入院患者数の増加等により診療収入は増収となったが、減価償却費の負担が大きく給与費も増加した。前年度に比べ損失額は大きく減少したものの、3年連続の赤字決算となった。

② 平成29年度（上半期）経営状況について

延入院患者数が伸びており収益は増加している。また、給与費の法定福利費の一部の減額措置により費用は減少していることから、本年度の収支は前年度同期に比べ好転している。

③ 市立砺波総合病院新改革プランの数値目標評価と経営改善の取組みについて

本年度上半期の目標達成率は概ね高いものの、一部に未達の項目もあることから、引き続き達成に向けた取組みをすすめる。

外来患者数は、患者逆紹介を強化したことから目標値以上に減少したものの、診療単価が向上したことから、収益は確保できている。

地域医療支援病院の要件である患者紹介率・逆紹介率は、従前に比べ大きく伸びているものの、逆紹介率が目標値に届いていないことから、引き続き増加対策を強化する。また、地域医療支援病院の要件である審議委員会の設置等、院内体制の整備をすすめている。

外部コンサルティングを導入し、将来ビジョンの策定と診療プロセス適正化に取り組んでいる。

④ 今後の収支の見通しについて

前年度決算を反映し、一部の項目を修正した。

本年度実績を踏まえ、現在実施している外部コンサルティングの状況と次期診療報酬改定の影響を見極め、引き続き地域医療支援病院への取組みを強化し、平成30年度に収支見通しの中間見直しを行う。

委員からの主なご質問やご意見は次のとおりです。

- ・不足している診療科の医師確保に努めていただきたい。
- ・病院の広報活動に努めていただきたい。
- ・外部コンサルティングについて質問があり、少しずつ成果が見えていることを報告した。
- ・内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の活用状況について質問があり、現在泌尿器科で使用しているが、今後対応症例の拡大が見込まれることを報告した。
- ・地域連携クリニカルパスの推進と、医療と介護の連携強化に努めていただきたい。
- ・医師事務作業補助者の採用をすすめ、医師の診療時間の確保に努めていただきたい。
- ・収支の見通しに係る不良債務の状況について質問があり、現在及び今後の見通しにおいても不良債務は無いことを報告した。
- ・地域医療支援病院の承認に近づいているので、引き続き患者紹介率・逆紹介率の向上に努めていただきたい。